

北海道日高地方在住インド人をめぐる社会的文脈

2025年3月29日（土）

14:00-16:00

オンライン（Zoom）



参加無料

報告者：栗田知宏（東京外国語大学）・澤田彰宏（東京外国語大学）

プログラム：

第1部「日高地方在住インド人の増加の背景とかれらの生活状況——浦河町の事例を中心に」

第2部「送り出し地域の現状——ラージャスターン州ジョードプル郊外での予備調査から」

要旨：南アジア系住民の存在感が全国的に高まるなかで目を引くのが、北海道日高地方の軽種馬産業に従事するインド人労働者である。とりわけ浦河町では、平成27年から増え始めた人口が昨年末には367人を数え、全人口の約3.4%を占めるに至っている。では、この人口増加の背景にはいかなる社会的要因があり、かれらの移住の経路はどのように形成されているのか。本報告の第1部では浦河町を中心とした受け入れ地域の事情やかれらの生活状況から、第2部ではかれらの多くの出身地であるラージャスターン州ジョードプル郊外での予備調査の結果から、これらの問いについて多角的に検討したい。

司会：萬宮健策（東京外国語大学）

参加をご希望の方は、右記のQRコードまたは下記のURLより3月27日（木）までに事前登録をお願いします。

<https://forms.gle/yACWKMAtd633kcmh6>

Contact: 東京外国語大学南アジア研究センター

findas_office@tufs.ac.jp <https://www.tufs.ac.jp/ts/society/findas/new/>

